

◆ 喉にものを詰まらせた時の対処法

利用者が食べ物を喉に詰まらせることがあります。それによって死に至る事故になりかねませんので、喉にものを詰まらせることを軽く見てはいけません。

高齢者は嚥下機能が低下しているので事故発生率が高いのです。

もし、このような状態に立ち至ったら一刻を争う事態です。考えている暇はありませんし、スタッフや救急隊が来るのを待っている時間ありません。日頃からどうすれば良いか頭に入れておくことです。

なお、当方は専門家ではありませんからこの一連のページは参考・予備知識という程度にとどめておいて、専門家の直接の指導かそれに準ずるもので勉強してください。

1. 咳をさせる

咳ができる時は、できるだけ咳を続けさせる。それも大きな咳が効果的。

2. 異物を取り出す

口を開け異物の状態をよく見る。

この時、傷病者の頭は動かさないようにし、入れ歯は取り除く。

次に傷病者の顔を横に向け、一方の手で舌を押さえ、もう一方の手で異物をかき出す。

異物を奥に押し込まないように注意。指に布を巻くと異物や舌が滑らずうまく行く。

水などで無理に異物を飲み込ませようとするのは危険。

3. 背部叩打法

傷病者を側臥位または前かがみにさせ、

手のひら(手の付け根に近い部分)で背中の中肩甲骨の間を強く 4～5 回続けて叩く。



背部叩打法

4. 上腹部圧迫法（ハイムリック法）

傷病者を座位または立位にし、後ろから抱えるように位置する。片手は拳を握り

傷病者の胃のあたりに当てる。もう一方の手で拳を握り、素早く強く押し上げる。



上腹部圧迫法（ハイムリック法）

5.側胸下部圧迫法

傷病者はうつ伏せか仰向けにし、下半身にまたがる。手のひらを側胸下部に置き、下部胸郭を内側下方に引き絞るように、素早く強く圧迫する。



側胸下部圧迫法

6.意識がなくなったら

心肺蘇生法を開始する。心肺蘇生法は気道確保と人工呼吸、心臓マッサージを組み合わせた蘇生術で、人工呼吸の際に口の中に異物が見えたらかき出す。

7.掃除機

餅を喉に詰まらせると粘りがあるのでかき出しにくいと言われています。

掃除機に細いノズルを付けて吸引する方法もある。

ただ、この方法は、上記の処置を行なった後に試す処置です。